

平成18年度病害虫発生予報第8号(11月予報)

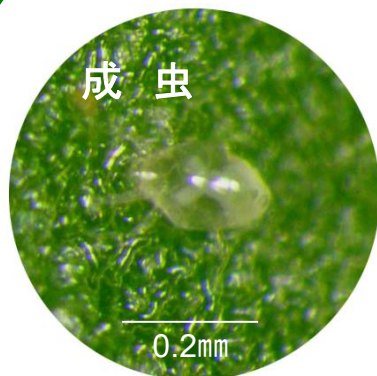
今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

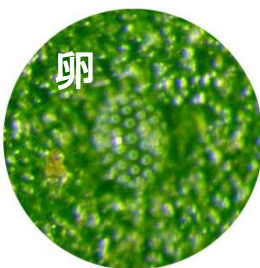
チャノホコリダニ (ピーマン)

学名: *Polyphagotarsonemus latus*

成虫



卵



被害株 (ピーマン)



芯葉部の被害



被害と生態

成虫の体長が約0.2mmと微小なダニで、肉眼で見ることは困難。体色は白色～淡黄色。卵は表面に多数の小突起を有する。成・幼虫が主に生長点に寄生し吸汁被害を与えるため、新葉が十分に展開せず、湾曲や縮れを引き起こす。被害がひどくなると生長点が黒変し、芯止まりを起こす。果実にも寄生し、変形果、さめ肌、肥大停止となり、収量に与える影響は大きい。25℃における卵から成虫までの発育期間は7～11日と短く、短期間のうちに高密度になりやすいため、早期発見・早期防除が重要である。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。